

## 素晴らしき10人の仲間を国会へ 歴史を創る 参院選告示まであとわずか



5月22日、東京渋谷公会堂地下食堂に300人が集まり - 参議院選挙に「みどりの旗」を掲げよう！歴史を創る第一歩の集い - が行われた。

10人の立候補予定者も勢揃いし、いよいよ選挙！という実感を参加者は共有した。10人はいずれも個性派、そしてそれぞれの課題と情熱をもった素晴らしい仲間たちである。是非とも国会へ送り出そう。

フランス、オーストラリア緑の党からも心のこもった連帯のメッセージが寄せられ、日本にも本格的な「緑の政治」を作り出す動きが始まったことが、国際的な注目を集めていることも確認された。改めて私たちの試みのもつ意味の大きさを知らされた。

残された時間はわずかである。

年金「未納」問題などで政治への不信が一層強まっていることは間違いないが、年金、有事法制...と、この国の政治はますます悪い方向に向かっている。その中で「もう一つの選択肢」をどれだけ鮮明に、大胆に示すことができるかに勝負はかかっている。

2月「虹と緑」臨時総会で参院選への取り組みを決定して以降、全国各地で候補者擁立にむけての働きかけ、呼びかけ人の拡大、マニフェストやリーフレットの作成とさまざまな努力が続けられてきた。それらの積み重ねという基礎の上に、「緑の政治」実現にかける思いを解き放ち、大きな花を咲かせよう。

6月24日告示、7月11日投票まで、それぞれの持ち場で全力をあげよう！

### 「虹と緑」第8回総会 第10回全国政策研究会

8月28日(土)～29日(日)  
静岡県三島市 市民文化会館&生涯学習  
センターにて(詳細未定)

予定を入れておいてください。

### = Contents =

フランス緑の党等からメッセージ	2
「緑の旗」に期待して...国立市長 上原公子	4
関西からの報告	5
中野区がはじめた自治体改革(2)	6
虹と緑の本棚「対論 戦争、軍隊、この国の行方」	8
男女共同参画推進基本法、空洞化の危機	10
緑の政治・最新情報 その7	11
参院選・武田レポート	12

# フランス緑の党から激励メッセージ

## ヴワネさんからのメッセージ

親愛なる皆さん

日本で緑の党の設立に向けた努力が行われていることは、私たちみんなにとって嬉しい知らせです。

私は、2001年7月にフランス政府を去って以来、まだ日本に行くことができませんが、日本の状況にはいつも注目してきました。日本は、自然に包まれた質素な生活のなかで、人が生きることの意味を問うことのできる社会を渴望する気持ちと、自分以外のすべての人を敵にしてしまう苛烈な競争とやみくもな消費への逃避という、ふたつの道の間で揺れ動いているように思われます。

今回の参議委選挙を契機に、そしてその後もこの冒険を続けて行くために、皆さんが人々を説得するために必要なエネルギーを見つけられることを願ってやみません。

またお会いできるのを楽しみにしています。エコロジストの友情をこめて

ドミニック・ヴワネ  
元フランス国土整備・環境大臣

世界が注目する  
参議院選挙

## リピエッツさんからのメッセージ

親愛なる友人の皆さんへ

日本の緑の党設立に向けて新たな一步を踏み出すこの場でご挨拶できることを、大変嬉しく思います。

私はこの20年間、環境保護や女性の権利、平和、労働者の権利などを求める日本の様々な社会運動の展開に注目してきました。

前回皆さんを訪問して、日本で政治の世界に踏み出すことがいかに難しいかが分かりました。しかし、私は常に、エコロジストがいつか連帯の精神でひとつにまとまることを信じていました。

いま私は、日本の政治の空白のなかで、緑の勢力の登場が今後日本国民の大きな部分を急速に引きつけて行くことを確信しています。

この重要な時を皆さんといっしょに記すことができないことが残念です。いまフランス緑の党は、6月13日に行われる欧州議会選挙のキャンペーンでみんな大わらわの毎日なのです。また近いうちに、日本で皆さんに再会できるのを楽しみにしています。

私たちは、こんどの参議院選挙で、またそれ以降も、皆さんが大きな成功を勝ち取られることを心から祈っています。

いっしょにがんばりましょう！

フランス緑の党を代表して  
アラン・リピエッツ  
欧州議会議員

フランス緑の党欧州議会選挙統括責任者

## オーストラリア緑の党から

### ブレッカーズさんからのメッセージ

親愛なるみどりの会議 / 虹と緑のみなさん。

緑の波は世界中で大きくなっており、日本の緑はこのエキサイティングな世界的な動きの重要な一部を構成しています。

参議院議員選挙に向けたキャンペーンが日本で始まると聞き、心より祝福いたします。これによって日本の市民が緑の将来へ投票するチャンスを得られることになるでしょう。みなさんのキャンペーンが楽しいものであること、そして成功に終わることを祈念しております。みなさんの活動は世界中の緑に大いなる刺激となることでしょう。

オーストラリア緑の党  
マーガレット・ブレッカーズ  
グローバルグリーンズ・コーディネーター

### フォスキーさんからのメッセージ

みどりの会議の選挙キャンペーンがいよいよ始まることを心からお祝い申し上げます。そして、マーガレット・ブレッカーズが日本を訪れる際、私たちの心からのお祝いを直接お伝えできると確信しております。アジア・太平洋緑のネットワーク会議でお会いできることを楽しみにしております。

デブ・フォスキー  
オーストラリア緑の党 国際部代表

### グレースさんからのメッセージ

こんにちは。

日本の友人の皆さんがついにこの一步を踏み出されたことは、私個人にとっても大きな喜びです。

私たちは、2001年にキャンベラで開かれたグローバル・グリーンズの最初の大会で、皆さんと長い間ご一緒しました。私自身も、緑の党（フランス緑の党と緑の党連合）の規約について皆さんといっしょに作業しました。

アジアには、私たちと非常に近いけれども、文化的な理由から政党を形成しない市民団体がたくさんあります。これまで、積極的に選挙に参加したのは、（オーストラリアとニュージーランドを除けば）台湾緑の党があるだけでした（得票率 4.8%）。

日本の皆さんのこの一步や、今年ムンバイで行われた世界社会フォーラムでの運動の大きな躍進を見ると、アジアで政治的エコロジーの大きな胎動が始まっているのではないかという気がします。ローマで行われた緑の党世界大会では、アジアからもたくさんの参加者がおり、アジアの緑の勢力の連携を強化する作業を始めていました。

今後とも、皆さんの活動に注目しています。

フランス緑の党国際担当  
ヨーロッパ緑の党連合  
グローバルグリーンズ・コーディネーター  
カトリーヌ・グレース

## 「みどりの旗」に期待して

国立市長 上原 公子

参議院選に向けて旗揚げの集い開催、おめでとうございます。

みどりの立ち上がりを、心待ちしていた日本中の皆様と共に、喜びたいと思います。

昨年の、有事法制三法案成立以来、自・公対民の二大政党論は、日に日に接近し、同化を始めていように思えます。国民の声に耳を傾けることなく、国民不在のまま国会内のパワーゲームに終始する議員たちを見ていると、日本の行方に暗澹たる思いが募ります。国の財政再建の影で、弱者がばっさばっさと切り捨てられ、国民は暮らしのぎりぎりの中で悲鳴に近い叫びを上げています。私は、小さな自治体の首長ですが、7万3000人の市民の生命と財産を守る責任を負っています。

このような市民の思いを一心に受けて、毎日必死の戦いを続けています。今の日本の状況を考えると、溜め息しか出ませんが、未来の子供たちのためにも、主権者が、手を携え勇気を持って参議院選を突破しなければなりません。

「政府の行為によって再び戦争の惨禍が起こることのないように」、生命を抱え、生命と共に生きる立場から、明確に議論のできる国会議員が、一人でも多く誕生する必要があります。その時代の要請を受け「みどりの旗」が力強くはたらくことを、心から期待しています。

私自身のこの参議院選の選択は、憲法9条を守り、軍隊を持たない国、戦争をしない国であり続けること一本にかけるつもりです。

『徴兵は、命懸けても阻むべし。母・祖母・おみな牢に満とも』(石井百代歌)

### 予定候補者の 本紹介

#### 脱ダムから 緑の国へ

藤田恵著

緑風出版  
定価 1600 円 + 税

ゆずの里として知られる徳島県の人口1800人の小さな山村、木頭村。国のダム計画に反対し、「ダムで栄えた村はない」「清流を子孫に残そう」「ダムに頼らない村づくり」を掲げて、村ぐるみで遂に中止に追い込んだ前・木頭村長の奮闘記。

#### 消費者のための 食品表示の読み方 毎日何を食べているか

安田節子著

岩波ブックレット  
定価 480 円 + 税

著者は2000年まで日本消費者連盟事務局員、遺伝子組み替え食品はいらない！キャンペーン事務局長。現在「食政策センター」「ビジョン21」主宰みどりの会議副代表委員。他に「食べてはいけない遺伝子組み替え食品」等著書多数。

#### コスタリカを 知るための55章

国本伊代編纂  
足立力也共著  
明石書店  
定価 2000 円 + 税

中米の緑豊かな熱帯の小国コスタリカ。エコツーリズムや軍隊を廃止した平和主義など日本人の関心も高い同国の姿を、基本データをはじめ、歴史、政治、外交、社会、経済、自然環境、人々の暮らしの面から生き生きと描く。

# 参院選の取り組み・関西からの報告

稲村 和美（兵庫県議）

他の地域に比べて出遅れている感が否めない関西ですが、選挙本番も近づき、やっと動き始めています。候補者の擁立はできませんでしたが、この参議院選挙をきっかけに多くの市民グループがつながれるようにしましょう、「みどりの政治」そのものの浸透を図ろうということで、気持ちを新たに取組を進めているところです。

「虹と緑」の枠にとどまらず、みどりの会議のサポーターやいろんな市民グループを含めた枠組みとして京都・兵庫で、みどりの発足集会と記者会見が予定されており、大阪が準備中です。具体的な取組は都道府県単位で進めますが、共同キャンペーンや情報共有のため、その上に「関西連絡会議」を設けています。

関西での取組の柱は大きく2つ。1つは、6月11日に予定されているオーストラリア緑の党 マーガレットさん来日イベントに、今までの「虹と緑」だけではつながれていなかっ

た多くの市民グループや、とりわけ平和運動の若者を中心に参加してもらい、「みどり」そのものをもっとよく知ってもらうこと。そしてその動きを選挙本番の街宣活動や拡大運動にしっかり結びつけていくことです。

もう1つは、選挙区から無所属で立候補する予定の人たちとの連携です。兵庫選挙区では、新社会党の原和美さんが市民運動や社民党の一部と連携して無所属で立候補する予定で、「みどり」とも連携する方向で話を進めています。大阪選挙区もこれから話し合いが本格化すると思いますので、護憲勢力まで含めた幅広い取組を目指したいと考えています。

遅まきながら、動き始めると新しい人たちとの出会いがあり、やっと元気が出てきたかな？というのが最近の関西です。関西の動きが鈍いことでご心配をかけていたと思いますが、巻き返していく予定です。

ともに頑張りましょう！！

## < 今後の予定 >

### みどりの会議・京都勝手連 発足集会

日時：6月6日（土）14：00～16：00

場所：京都教育文化センター（101会議室）

ゲスト：足立力也（予定候補）・桂 睦子

### グリーンズ・フォーラム「もう1つの日本は可能や！」

日時：6月11日（金）19：00～21：00

場所：大阪ドーンセンター

ゲスト：マーガレットさん・小林一朗（予定候補）

### みどり（葉っぱのロゴ）ひょうご 発足集会

日時：6月12日（土）16：30～

場所：（未定）問い合わせは 稲村 06-6423-1991 まで

ゲスト：藤田恵（予定候補）

## 市民参加型行政評価をめざして

東京都中野区議会議員 佐藤ひろこ

### 区民参加の外部評価制度を導入

自治体改革をすすめるにあたって、「行政評価」は行政の説明責任を果たし、手応えのある区民参加と区民に開かれた区政をすすめる手法である。行政評価の目的は「施策の目的の明確化」「区民の視点での評価と成果の管理」「説明責任の確保」「計画 - 実施 - 評価 - 見直しのサイクルの確立」「職員の意識改革」である。「行政評価」を導入しはじめた自治体は増えてきているが、公募の市民を入れた外部評価委員会を設置して全施策の「外部評価」を実施している自治体はまだ少ないのではないだろうか。

中野区は2000年度から行政評価を一部試行しはじめ、2002年度には区が行なう全施策と事業を対象に内部評価を実施した。事業を所管する部署が第一次評価を行い、全庁的なメンバーで構成した行政評価委員会が第二次評価を行なった。しかし、第一次と第二次の評価はいずれも内部評価で違いが明確ではなく、区長が変わった後、2002年秋に「区民の視点で客観的な評価」を行なう「外部評価制度を導入」することにした。2名の公募区民と5名の学識経験者による中野区外部評価委員会を設置し、2003年度には区民にわかりやすく、目標により区の仕事をくり直し、全施策の外部評価をおこなった。外部評価委員は各部が行なった自己点検結果を基本として、職員から施策内容についてヒアリングを行い、「目標は適切か」「指標は正しいか」「それに基づく成果は上がっているか」を視点とした個別施策評価を行ない、12月に報告書をまとめた。そして、その外部評価結果を受けて、区は施策の見直しの方向など所管部の考え方を3月にまとめた。(詳しくは中野区のホームページを参照)

<http://www.city.tokyo-nakano.lg.jp/>

### 予算に行政評価の手法を反映

今年度2004年度予算の特徴は、予算説明書補助資料に目標と成果指標が書かれていることだ。事業ごとにその「目標」と複数の「成果指標」と「目標数値」などが明記されている。事業の目標や年度の到達点がはっきりわかる。全事業を見直し、目標によって組み立てていった職員の努力は大変なものがあったと思う。職員の仕事のための仕事から、区民のための仕事をするという、職員の意識改革に少しでもつながったのではないだろうか。予算委員会の審査の中でも、何がどう改善され今回の予算となったのかを見るために、前回の決算の説明資料、昨年末に外部評価委員会から出された「行政評価報告書」と今回の予算説明書補助資料を見比べて質問した。区民の視点に立った目標と指標の設定がこれからの区政運営に大切なことがよくわかる。外部評価の結果は本来は決算審査に生かされなければならない。今年度からは、外部評価委員会からの報告を9月の決算委員会に出すことをめざす。

### 予算委員会での質問から

行政評価の手法を取り入れた予算説明資料に基づいた質問例として、今回の予算特別委員会での私の総括質疑の中から一部を紹介する。

佐藤「ワンストップの保健福祉相談」は、「保健・福祉・医療の連携による相談援助」の施策の目標に掲げられている。施策の目標は「ワンストップで相談とサービス提供ができる場所として保健福祉センターが整備され、区民への認知度が上がり、保健・福祉・医療に関する相談が受けやすい。」となっている。区民の方々からいただく相談や苦情も、「どこに相談していいかわからない」「相談がたらいまわしになる」といったことが多く、「相談するところが区民に明確に伝わ

っている」「たらいまわしにせず、その窓口で総合的に相談にのることができること」は施策の目標として当然だ。しかし、何のための相談かという大切な目的が抜けている。「区民の方が必要としているサービスにきちんと結びつけること」が相談援助の目的として必要ではないか。仕事のための目標になっていて、区民のための目標が抜け落ちているのではないか。区民にとっての満足度を考える視点をもつべきだ。「外部評価委員会の評価結果」で「成果指標が区民の視点からわかりにくい」「何を目的で誰をどのように支援するのかが不明確」との指摘を受けている。今回の予算では、成果指標が「不満足度」ということから、「保健師活動での支援事例数」に改善されたが、ケースワーカーの支援事例数は指標に入っていない。もっと指標のとり方に工夫すべきだ。福祉サービスは利用者が必要性を切実に感じて窓口に行きつるにもかかわらず、サービスが利用できるまで時間がかかったり、たらいまわしになったりしている。相談・援助を改善する必要がある。利用者満足度アンケートを各窓口でとってみるなど、迅速に的確に相談援助が行なわれたかどうか、評価できる指標をさらに検討するべきだがどうか。

保健福祉センター長 この成果指標については現在のもので十分であると思っていない。評価委員会のヒアリングにおいても、利用者の満足度について反映させてはどうか、直接的に利用者にアンケートをとるという提案も受けている。こういったアンケート結果も反映できるように今後工夫してまいりたい。(ちょっとはっきりしない答弁だった。職員は成果指標の設定に相当悩んでいるようだ。)

「市民参加型の行政評価」について予算総括質疑の中から一部を紹介する。

佐藤 行政評価は区民に行政を評価していただく、区民の価値を実現する区政をつくること为目标。外部評価委員に公募区民を入れていることは評価できる。区民意見を求める仕掛けと、仕組みの工夫など、外部評価委員も指摘しているが、「行政評価」について区民から意見をもらう場としてのフォーラムや説明会の開催、区報などで興味を引く公表の仕方、これからどのよ

うなことを考えていくのか。

経営改革推進担当課長 行政評価は、区民の視点で区の仕事を見直すものであり、評価結果に多くの区民が関心を持つことが重要であると考えている。これまで区報、ホームページに見やすさを工夫し公表してきているが、区民の声を求める工夫などさらに検討を重ねていく。

佐藤 札幌市の14年間も生活援護の職に携わっている職員の方が作っている「行政評価」のホームページのメッセージがすてきだった。以下少し引用「人の意識や行動は、一朝一夕には変わらない。悲観せず、改革の種を蓄えることが今は大切である。…最後に、私の好きな言葉を添えたい。思いは、かなう。」地方自治体の一職員が国を変える動きをつくっている。地域での一つ一つの実践が大きく国を変えていく。中野区の職員の方もぜひがんばっていただきたい。

## オンリーワンの評価制度を

これからは事務事業評価から施策の評価と政策の評価にバージョンアップしていくことが課題だ。「市民参加型の行政評価」はこれから踏み込む新しく、奥深い領域だと思う。目標や評価指標の設定は自治体ごとにことなるわけだから、モデルがあるわけではない。それぞれの自治体がオンリーワンの政策目標や評価指標をそれぞれの住民の視点で生み出していくことが、自治体改革の一つの鍵だと思う。

前回報告した「中野区の指定管理者制度」は何人かの方から問い合わせをいただいたり、視察にいらしていただいたりした。今、中野区は基本構想策定の真っ最中で、ゼロベースからの施設配置の見直しも並行して検討している。学校の再編と空いた学校施設を他の公共サービスに転用する、また地域施設の運営を区民団体に委託するなどの提案が出されている。何回にもわたる「区民と区長の対話集会」やパブリックコメント制度を重ね11月議会に議案として提案予定だ。地方分権と少子高齢化がすすむ中で持続可能な自治体のあり方を作っていくための基本構想になる。次回は基本構想の改定についてお伝えできればと考えている。

## 「対論 戦争、軍隊、この国の行方」

## 九条改憲・国民投票を考える

渡辺治、伊藤真×小林節、畑山敏夫

「改憲が具体的な政治日程にのぼろうとしている今こそ、憲法についての活発な議論を起す必要があります...やがて始まるであろう改憲のプロセスに備えて問題意識と関心を会員のみなさんと共有したいと思います(畑山敏夫「虹と緑」アドバイザー)との手紙と本書をいただきました。

\* \* \*

読み始めて「しまった」と後悔しました。なぜなら、私は「朝まで生テレビ」が嫌いだからです。好き勝手に喋りちらすパネラーや、分けの分からない司会者を見ながらも、私自身は意見を述べる事ができません。テレビにむかってブツブツ言うのは気味悪いし、怒鳴っても血圧とアルコール量がうなぎ登りになるだけですから。

ところが本書の司会者=今井一さんはこの対論を「上品な“朝まで生テレビ”になればいい」などと言っているではありませんか。これではまたまた酒量が...

たとえば改憲派の小林節さんは、9条改憲試案として「侵略戦争を放棄する、国連から正式な要請があった場合には国際警察活動に参加する用意があることも宣明する」と提案しています。しかしこれなど「何を護憲派みたいな軟弱なことを言ってるんだ、これではイラク派兵は違憲じゃあないか。明文改憲しても、すぐに解釈改憲しなくちゃならないぞ。現実を見る、現実に憲法を合わせろ！」と、野次ってみたくもなるのです。ああフラストレ

ーションが...

[護憲派もまとまっていないが、改憲派もばらばらということですね]

国民投票の重要性を指摘するあまり(少し)強引な運びをする司会者にも一言いいたいのですが、それは「アフターシンポ」で渡辺治さんがきちんと論を展開しているので...

\* \* \*

ともあれ本書の「あとがき」で今井さんが指摘している「護憲派は有効な戦略を掲げられずにいい」というのは、正しい状況認識です。

現状の国会内での力関係では、早晩、国民投票に向かうわけですから、そこに到る過程全体を見通した戦略を立てる必要があります。

まずは改正手続きの正確な理解から始まり、どのような方法で国民投票を実施するのかの「国民投票法」も検討しなければなりません。これは投票結果を左右すると言っても過言ではない大きな意味をもっていますが、この検討はこれからです。

\* \* \*

ところで憲法をめぐって「国民的議論」はまきおこるのでしょうか。

渡辺さんは「国民投票の時に突然国民は主権者として目覚めるのではない」と、そこに到る過程での運動の大切さを強調します。これまで各地で行われた様々な住民投票も、そこでの運動の積み重ねが大きな意味を持って

いました。どれだけの幅と深さをもった運動を展開できるかが勝負です。

この点、畑山さんも憂慮していますが、「備えあれば憂いなし」などと言っては具体的な議論を回避してきたのが小泉政権です。「国民に十分な議論の可能性を保障し、国民の自己決定を尊重する形で改憲プロセスを進めるかどうかは大いに疑問」です。まさに戦略が問われています。

良心的軍事拒否国家の考え方や、非暴力の発想、軍隊を捨てたコスタリカの実例など、またアジアに於いて平和をつくりだす努力を具体的に展開しながら、あるいは平和への自治体や市民の係わり方も検証しながら、「この国の行方」をめぐる議論を展開していかねばなりません。

\* \* \*

伊藤真さんは「軍隊を持つ普通の国にはいつでもなれるが、非暴力主義という特別の国にはそう簡単になれない……変更するというならば、もう戻れない覚悟の上で変更しなければならぬ」と強調します。

いったん手放せば、おそらく私たちは二度と手にすることはできない。

それが憲法9条です。

ここ数年の私たちの運動に、この国あり方と、未来世代の運命がかかっています。

これから改憲派との間に冷静かつ熱い議論を展開していく必要がありますが、本書はその第一ラウンドをなすものでしょう。戦略と同時に戦術も練りながら、ここ数年の憲法をめぐる状況に立ち向かっていかねばなりません。(ああその前に「護憲派」内での議論が立ちだかっていますね……)

光吉 準 (政策情報センタースタッフ)

## 5.21 「国 - 地方政策研究会」 エネルギー政策を考える

5月21日、参議院議員会館内で「国 - 地方政策研究会 エネルギー政策を考える」を行い、20人が参加しました。

6月初めにドイツ・ボンで国際再生可能エネルギー会議2004(リニューアブルズ2004)が開かれます。これは2002年のヨハネスブルクサミットでドイツのシュレーダー首相が開催を呼びかけたものです。世界各国から専門家や政府代表、NGOが多く集まり再生可能エネルギーの普及に向けての会議が行われます。地方自治体や議員の会合も予定されています。

しかし日本での関心は世界レベルから見れば低いのが現状です。

研究会では大林ミカさん(環境エネルギー政策研究所 副所長)に「ドイツ国際会議の意義と日本のエネルギー政策」を話していただきました。

さらに経済産業省と環境省から国際会議にむけての基本姿勢の報告を受け、活発な質議が行われました。依然として原子力発電をエネルギー政策の柱に据える日本が、国際会議の足を引っ張らないか...というのが正直な感想です。

現状では京都議定書での「6%削減」という国際的な約束が守れないのは明白ですが、地域からもう一度自然エネルギーの普及に向けた取り組みを強化し、国の政策も大きく転換させていかねばなりません。

(ボン会議の報告は次号で)

[光]





## 韓国「緑」が解党か ～ 4月総選挙をめぐる韓国「緑」の結末～

今本 秀爾（虹と緑・アドバイザー）

4月15日に行われた韓国国会総選挙で、ノムヒョン率いるUri党が議席を大躍進させ、民主労働党が初めて国会に議席を獲得するなど、大きな変化をもたらす結果となったことはまだ記憶に新しいところである。

ところでこの選挙で、韓国における緑の勢力はどうなったのか？という情報は残念ながら国内のニュースソースでは報道されなかった。そこで今回は現地の新聞や雑誌からその辺の事情を報告させていただくことにした。

韓国「赤－緑」連合が成立（2004年2月）

韓国にはグローバル・グリーンズ連盟の参加メンバーである「緑色平和党」という団体が存在していた。

しかし同政党はNGOメンバーの選抜団体ということもあり、組織力の点で国政にチャレンジするには及ばなかったため、労組を母体とする韓国社会民主党との連携で国政進出を模索することになった。

その結果、韓国社会民主党と緑色平和党が2月22日午後2時ソウルにて統合全党大会を開き、「緑色社民党」という名称に生まれ変わった。

緑色社民党はこの日、全党大会で、チャン＝ギピョ前社民党代表を代表最高委員とし、パク＝チャンファ、チョン＝ヘフン前緑色平和党共同代表と、パク＝ヨンホ ハンシン大大学院長、カン＝ソンチョン韓国労総（労働組合総連合会）自動車労連委員長、イ＝ピョンギョン韓国労総金属労連委員長を最高委員として選出した。

この結果、新しく「緑色社民党」は党員2万人を突破した。

同党は、政治不信と経済危機を招いたノムヒョン政権に対抗していく姿勢を鮮明にした。ちなみに韓国労総はメンバー100万人を擁する大労組団体である。

2大政党軸に対抗する「第3極」をめざす

この新生・緑色社民党は、闘争より合理的な妥協を重視する中道左派のスタンスで社会保障を通し、より良い世の中を作ろうという社会民主主義を唱える。簡単に言うと、西欧、北欧の福祉国がモデルである。

同党は今回の総選挙で28の選挙区に候補者を出し、比例代表にも候補者6名をリストアップした。チャン代表とイナムスン韓国労総委員長が、共同で選挙対策委員長を務めた。

緑色社民党の選対では、当初、労組組合員の多いソウル銅雀区甲地区、さらに蔚山市、亀尾市等で4議席を獲得できると予測していた。韓国では投票で3.5%を超えれば比例代表区でも2名が当選可能なので、総勢6名くらいの当選が期待された。

選挙では、反ノムヒョン、反ハンナラ党という、2極化する政治軸を超えた第3極勢力の形成に力を注いだ。

緑色社民党解散（2004年4月16日）

ところが総選挙の結果は、緑色社民党は政党支持率0.5%、個人票でもチャン＝ギピョ代表がソウル銅雀区甲選挙区で、4.9%を得票したにとどまった。

緑色社民党は、総選挙の翌日16日、「我々は国民からの支持を受けることができなかった。数多くの難関を突破するには、緑色社民党はあまりにも脆弱で無力であった」として、党最高委員と常任顧問全員が辞任した。また、政党登録要件であり議席確保条件である2%の得票を得ることに失敗したため、緑色社民党は清算委員会を構成、党を解散した。

（以上 翻訳協力：吉原育子）

5月22日参議院選挙に「みどりの旗」を掲げよう！歴史を創る第一歩の集いが、渋谷地下食堂で300名からの参加のもと開催され、大いに盛り上がりました。ようやく10人の候補者が揃いました。立候補を決意していただいた10人の皆さんになにより感謝したいし、擁立にむけ努力いただいた関係者のみなさん、本当にご苦労様でした。

10人の皆さんは、それぞれの地域や分野で地道に市民活動を続けてきている私達の仲間です。私達自身が自治体議会に乗り込んでいったときのように、今度は「市民が国会に乗り込む」といった陣形です。それぞれに個性豊かで熱き思いの方々ですが、とくに「30代3兄弟」こと、足立力也(31歳)さん、熊野盛夫(34歳)さん、小林一朗(34歳)さんの三人に注目しています。コスタリカのピースガイド、ライブハウス経営、サイエンスライターのそれぞれの肩書きをもちますが、失礼ながら収入は決して多そうではありません。収入ではなく生き方を大切に、9.11以降の反戦運動に関わっていることも共通している点です。5月の候補者研修会時の討論で基礎所得制度や、均等待遇等の労働・社会保障政策に強い関心を示していたのが印象に残りました。22日集会の中で、足立さんのギターで、熊野さんが「政治はロックだ」？を即興ブル

ースで歌いました。彼らを見ていて、存在そのものが「みどり」だなあとつくづく思えて、時代そのものが、彼らを生み出しているんだということを強く感じさせるのです。それが、みどりの運動の未来であり、希望でもあるのです。(三人のみならず各候補のHPも充実してきています。是非、チェックしてみてくださいね。)

同じく22日集会にあわせてみどりのマニフェスト(第一次案)が完成しました。虹と緑のメンバーに中心を担っていただきました。各県窓口も全県に設置することができました。呼びかけ人は768人(24日現在)になりました。ようやく各県各地での動きがでてきました。これらすべてが、本当にいとおしく思えます。勝ちたいです。本当に勝ちたいです。

皆さんにやっていただきたいことを記します。

- (1) 公選ハガキの取り組み(各候補者ごと)
- (2) 新リーフ等を使った宣伝(宣伝物はHP参照。マニフェスト簡略版は作成中)
- (3) 呼びかけ人の拡大(目標=各県40人)
- (4) 街頭宣伝など
- (5) その他当選のために必要なあらゆること  
どうかよろしくお願いします。

夏の蒸し暑さを予感させるこの頃 東京にて 5.26

## マーガレット・ブレイカーズさん(オーストラリア緑の党)来日

オーストラリア緑の党の事務局長で世界の緑の党(グローバル・グリーンズ)連盟の代表として世界中を回っている、マーガレット・ブレイカーズさんの選挙応援が実現しました。

福岡・大阪・名古屋・東京の各地で集会が予定されています。詳細は各地の連絡先まで。

福岡 092-738-5077 (へいわ本舗)  
大阪 06(6423)1991 (稲村事務所)  
名古屋 052-803-6110 (山田)  
東京 042-348-1127 (市民自治こだいら)

マーガレット・ブレイカーズさん

オーストラリアの野鳥保護運動家としてキャリアを重ねる。2001年、首都キャンベラで開催された第1回世界緑の党大会(グローバル・グリーンズ2001大会)の総合司会を務め、大成功を収める。その後、世界緑の党連盟の主役的存在として世界中を駆け巡り、各国の緑の党の創設や選挙応援に尽力。現在の専門はエネルギー、地球温暖化問題。